

通って・訪問して・泊まれる24時間365日 生活丸ごと支援

星が丘ホーム 通信



- 発行: 2024. 11. 10 NPO「福祉ネット星が丘」
- 連絡先: 神戸市垂水区星が丘 3 丁目 2-23 電話・FAX 078-708-3244
- e-mail: hosi3223@circus.ocn.ne.jp
- URL: https://peraichi.com/landing_pages/view/hoshigaokahome

ホロコースト犠牲者の楽譜を探し、今に生きる私たちへのレクイエム!

久しぶりにプロのピアニストのリサイタルに参加しました。華奢な身体からはじき出されるエネルギーに圧倒された、ひと時でした。音楽が我々に与える影響は計り知れない力を感じました。

世界中で戦火の嵐が、いまだ治まらない現状に、胸を痛めている方は多いことと思います。多くの文化遺産や、二度と戻らない美しい祖国の原風景と共に、何人もの方々が尊い命を奪われています。小さな子どもも例外ではありません。

この日強烈に印象に残ったのが、バッハやシューベルトの馴染の演奏だけでなく、エルヴィン・シェルホフ（1894～1942）の、ピアノソナタ第1番でした。この方は、プラハでユダヤ系の音楽家の家に生まれ、将来を嘱望された作曲家で、ナチスからの「退廃音楽」のレッテルを張られ48歳という若さで、ヴェルツブルグ要塞（ナチス時代は収容所）で、多くの方々と共に苦しみながら亡くなられたのでした。ピアニストの彼女は、命を懸けて作曲された彼の曲を探し出し、その要塞からかなり離れた森の中にある墓標をも探しだして、祈りを捧げ、この曲を今の世に知らしめる機会を作られたのでした。戦争という悲惨な出来事で、もう二度と途絶えてしまったかのような彼の曲を、蘇らせ、永遠の命を吹き込み、リサイタルで奏でてくれました。

100年前（1924年）に書いた曲を、今（2024年）に聞いていただきたいと言うピアニストの思いが深く伝わりました。このソナタでは第1次世界大戦の恐ろしさ、敗戦と革命の中で成立したワイマール共和国の世界恐慌の中で苦しむ人々の苦悩、そのあとに続くナチスの恐慌政治の暗示が影を落としています。

フランク・パブロフの「茶色の朝」を思います。共産主義者をとらえ、次に文化人をとらえ、芸術家をとらえ、考える力や創造する力を奪い取って、互いが互いを疑い、告げ口を奨励し、人々の心から優しさや助け合いの心を奪っていったのです。

星が丘ホームの理念は「助け合い」の精神です。24時間365日いつでも、一人で悩まないで、まずはご相談を受け付けていますからね。ご遠慮なく！

今月のエッセンシャルオイル活用術

星が丘ホームではスタッフが自身の健康理念(ウェルネスピラミッド)に基づいた体調管理利用者さまの体調管理のツールに自然の植物の力を取り入れています。
癒しや香りだけを楽しむだけでなく理念である「食は命」にも注目をした時健康をフォーカスして作られたエッセンシャルオイルを使用しています。

今月は『ヒノキ』のご紹介

日本特産のヒノキから抽出されるオイルは、林業から出た間伐材や廃材を活用することで貴重なヒノキの木が無駄にならないようにしています。肌をなめらかに整え、さわやかで軽くすっきりとしたリラックスできる香りは、気持ちを落ち着かせてくれます。

☆就寝前にディフューズしたり、足、背中、胸元に塗布して心地よい眠りを。
☆浴槽に2～3滴入れ、心身ともに安らぐバスタイムを
☆床や木製品の仕上げ磨きに使って清潔に。
☆手の平に落としてすりこみ、深く香りを吸い込んでリラックスして落ち着いた気分。
☆いつものスキンケアに加えて、やわらかくしなやかな肌づくりを。
より詳しい使い方は書籍「アロマで介護」

をご参考になさってください

★星が丘ホームではアロマ介護士が常に常駐しています
(気になる香りや効能、セラピー体験随時受付中)
詳細はホームに問い合わせてください。)

☆フェミニンアロマについて

※紙パンツの弊害を軽減するため
9種類の精油をブレンドしたフェミニンアロマを使用しています。
興味のある方はどうぞご連絡くださいませ。

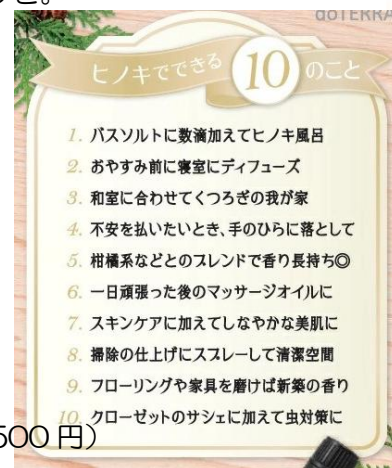
☆好評中です☆

誰でもできる『アロマクラフト』講座予約受付中です。(講座費 1500円)

『介護アロマ、CBD研究会 (お食事込み)』

毎月第3土曜日 18:30～参加費 1000円

場所 星が丘コミュニティサロン3階(星陵高校前。どなたさまもお気軽にご参加ください)



シェアハウス開設のための 寄付のお願い



阪神・淡路大震災から30年目を迎えました。

私たちはより切実な介護支援を痛感し、多くの皆様方の支援により星が丘ホームを24時間365日運営し、25年目を経過しました。

障がいの種別・世代を超え、ケアを必要とされている方に必要なサービスを制度のあるなしにかかわらず、この間実践を積み上げてきました。
たび重なる介護保険法の改正により、安心して暮らせる土台が、崩されてきています。生活弱者のシェアハウスの必要性が高まってきました。「互いに助け合いながら地域で生き抜く！」
互いの潜在能力を活かしながら、地域のより多くの方々を支援する場を目指しています

是非とも、物件の提供及び、ご寄付の重ね重ねのお願いをいたします。

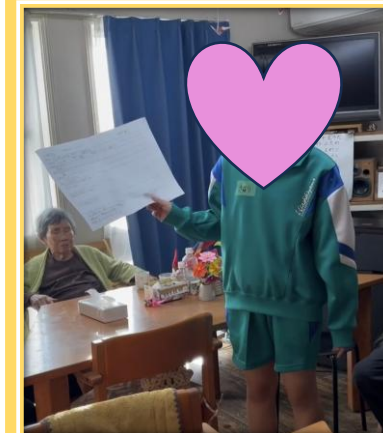
(一口1万円以上のご寄付の方はホームだよりで紹介させていただきます。)

振込口座 ゆうちょ銀行 14390-96626161

11月11日～11月15日 トライやるウィークありがとうございました



ご利用者さんと一緒に塗った
クリスマスの塗り絵は
素敵な12月の壁面になりました



5日間のトライやるウィーク
無事に終了いたしました。
それぞれのお得意を活かした活動は
ご利用者様の心を弾ませたのは
言うまでもありません
そしてご利用者さまレポート、
今までの歩まれてきた時代
教科書でしか知りえないはずの歴史を実際に
歩まれてこられたお話を目の当たりにし
最終日、発表の時には涙ぐんで
発表された生徒様もいました。
この5日間が少しでもこれから先の未来への
糧になれば幸いです。



「星が丘ホームと八重ママ」
YouTubeにて日々の過ごしを
お届けしております。